

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

I.理念・安心と安全に基づく運営						
理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者さん一人ひとりがその方らしく生活を送れるように、人生の歩みを知り、その方の今の気持ちを理解し寄り添えるようにと理念を掲げている。コロナ禍で実践できていない部分もあるので、5類となり今後は実践に繋がっていききたい。			
事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナが5類となり、今年は地域の盆踊りに参加することが出来ました。今後の地域行事を通じて交流を続けていきたい。	コロナウイルスも5類となり、今年度から地域行事などが再開されていくのか。		各自治会で地域行事を感染状況次第であるが再開します。防災活動も行っていくので、お声かけしてもらいます。地域行事や防災活動を通じて、地域の方と事業所の交流も再開できるように努めていきます。
運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	令和5年度から会議形式での開催を再開している。会議では参加者から質問・意見・要望に答えている。参加者からの意見は、会議に参加できなかった職員にも伝えている。			
市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議には毎回参加している。事業所の取り組み、事故報告などを伝え、取り組みを評価してもらっている。互いに協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議だけではなく、市担当者と日頃から連携が取れていますか。		市担当者と日頃から連絡を取り合っている。市に事故報告書の提出や介護保険の加算算定の相談など行っており事業所の実情やケアサービスの取り組みを伝えている。協力関係が築けているので、十分にできていると評価。
身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者及び全ての職員が介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解した上で、事例検討や身体拘束を体験することで利用者さんに生じる症状や気持ちの理解に繋がる取り組みを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過されることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄・入浴・食事介助場面での声かけや介助内容を検討している。無意識や悪気なく行っている支援が見過されないように努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職場会議でテキストを用いて、研修会を行っている。しかし、活用できる支援体制はできていない。			
	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時には、専門用語をできるだけ使用せずに説明を行っている。入居への不安を軽減する為に、支援方法を十分に説明し、理解していただけるように努めている。			
	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃の関わりで利用者さんからの意見、要望を確認する機会がある。家族に関しては面会を再開したばかりなので生活状況が見えていない部分もあるので意見がでにくい状況であり、運営に反映できていない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の意見、要望をでにくい状況が続いており、運営に反映できていないので、Cあまりできていないと評価。
	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者は意見やアイデアを聞き、職員と意見交換を行い、提案を反映させている。自分の意見を言えない職員もいるので個別に意見を聞く機会を設けている。			
	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は、管理者を通じて職員個々の努力や実績、勤務状況、疲労やストレスについて気を配り、各自が向上心を持って働けるよう職場環境を整えている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は、管理者を通じて職員一人ひとりケアの実際と力量を把握し、外部研修を受ける機会を確保している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在は別府市GH連絡協議会主催のリモート研修会に参加している。今後は他の事業所と様々な意見交換を行い、ネットワーク作りやサービスの向上させていく取り組みを行っていきたい。			
	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅や馴染みのお店に買い物にでかけるようになり、更に関係が構築できるように働きかけを行っている。			

	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的にお墓参りや自宅に行き、馴染みの場所に継続的に出かけている。入居前からの係りつけ医療機関に入居後も通院し、医師をはじめとした医療スタッフや以前からの知り合いの患者さんとも交流もあり関係が途切れない支援ができている。			馴染みの人や場所ともに関係が途切れない支援ができているので、十分にできていると評価。
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの思いや暮らし方の希望を日頃の関わりや性格、生活歴や家族に確認して把握するようにしている。困難な場合は、本人本位に検討している。			
	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者、家族、職場の同僚だった方と話し合い、意見やアイデアを反映し、原状に即した介護計画を作成している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子やケアの実践は総合記録表や日誌に記録し、申し送りやケアカンファレンスでもその情報を共有することで介護計画の見直しにも活かしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人・家族の状況や要望に応じて、通院の代行を行い負担の軽減を図っている。			
	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に住んでいた家を訪ねている。自治会の方の協力もあり、盆踊りに参加している。			
	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所前より、主治医のいる利用者に対して、本人や家族の希望に沿っている。家族の状況により職員が受診を代行することが多い。検査結果や、内服薬の変更時に連絡を行っている。			

	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時には、生活の様子、支援方法の情報を医療機関に提供している。職員が交代でお見舞いに行き、回復状況や入院中の様子を聞き、状態を把握するようにしている。入院中の様子は、随時家族に報告している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居契約時に重度化した場合や終末期のあり方について説明を行っている。早い段階から話し合いができていない利用者・家族もいるので方針を共有できていないこともある。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職場会議で急変時、事故発生時の対応方法についてマニュアルや事例で確認している。特に、食べ物で詰めた場合の対応については、食堂にマニュアルを掲示している。			
	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災訓練は2か月から3か月毎に行っているが、地震訓練が年に1度の頻度、水害訓練は行っていない。地域との協力体制もできていない。	今後は地震訓練や水害を想定した避難訓練を定期的に行っていく。地域との協力体制を築いていくために事業所として検討する必要がある。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	民生委員の方を通じて、事業所の訓練参加を呼びかける。事業所も地域行事に参加する。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりの状況に応じた声かけ行い支援を行っている。自己決定しやすいように、選択肢を伝え、意思を尊重するよう努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりの生活リズムを理解し、施設で過ごしやすい環境を整えるよう努めている。しかし行事の日程は事業所の都合により計画を立てている。			
	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりの嗜好を把握し提供している。数名の利用者には、食事準備、食後の皿拭きを手伝って頂いている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	栄養士による、バランスのとれた献立を作成している。食事・水分摂取量を確認して状態の把握に努めている。			

	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自分で歯磨きができる方は、声かけで対応と確認を行っている。介助が必要な方は毎食後に口腔ケアを行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄の間隔を把握して、個々にあった間隔で誘導を行っている。言動からも読み取りながら支援を行っている。オムツの見直しを行い個々に合ったオムツ使用を心掛けている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴は毎日入れるように準備している。毎日の入浴が苦痛に感じないように無理はせずに支援を行っている。2～3日拒んで入らない場合は職員が代わり対応している。夜間に入りたいと希望がある方がいらっしゃるが、夕方に入ってもらっている。希望に添えていないこともある。			
	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来るだけ日中の活動を促し生活のリズムが整えるように努めている。前日の睡眠状態やその日の体調によっては休んでもらう時間を設けている。			
	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医師から説明を受けた薬の効能や副作用については受診記録に記録し理解できるようにしている。症状やバイタル値の変化があれば、主治医に相談を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴や残存機能を把握し、生活の中で役割を持てるように支援を心がけている。週に1回は気分転換に買い物やドライブ、散歩に出かけている。			
	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	午前・午後とドライブの希望があり、出かけている。全利用者ではないが週に1回はドライブや買い物に出かけている。誕生日の夕食も再開している。			

	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者さんの希望で銀行に行くこともある。買い物や受診料などお自分で支払いをされる方もいる。ほとんどの利用者さんは職員が責任を持って支払いを行っている。			
	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	手紙が届いた時は本人に渡している。読むことが難しい方には、手紙を読んでいる。面会の間隔が空いている利用者にはビデオ通話で対応している。			
	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	座席の配置を工夫して、車椅子を自操する方も動きやすいようにしている。ホールに季節に沿った飾りつけを行い、季節を感じてもらえるようにしている。行事の写真をホール貼り、見てもらうことで思い出してもらえるような環境作りを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気の合う利用者さん同士ドライブに外出したり、食事の席を隣にしたりしている。一人で過ごす方が好きな方は居室で自由に過ごしてもらっている。				
	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族からの聞き取りによって得られた生活歴や暮らしの習慣などの情報を職員が共有し、普段の会話や支援、行事に活かしている。友人関係が続くように面会も行っている。				
	本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃の様子やバイタル値の変化があれば適切な治療を受けることができるように医療機関と連携している。歩行状態が不安定な方や車椅子を使用している方にはベッド下に人感センサーを設置し対応している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		
	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	やりたいこと、過ごし方など、その時の気分や体調に合わせ、自分のペースで生活できるように心がけている。			

		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の馴染みの寝具やベッド、衣類タンス、大切な仏壇などを居室に置くようにしている。持ち込みの少ない方には壁に行事の写真や色紙を貼り温かい雰囲気やくつろげる環境作りを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ドライブ、買い物、本屋など行きたい希望があればできるだけすぐに行けるようにしている。希望がなくても定期的に声をかけるようにしている。			
	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	洗濯物たたみや、食器洗い、いりこの頭取り、調理など役割で行ってもらっている。			
		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者さん同士や職員との会話と交流の機会を持ち、体力や気力を見ながら無理のない範囲で、手伝いや体操レクなど得意なことへの参加ができている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍だったので今までは交流できていないが、今後は交流していきたい。			
	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居後間もない時は、不安を感じ家に帰りたいと訴えがあった利用者さんに職員が関わり続けることで施設生活に慣れ安心して過ごせると言葉も出るようになった。今後は地域との交流をしていきたい。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	